

新入職員挨拶

神本 智子

今年の3月に看護学校を卒業し、4月からおおぞらで働くことになりました。といつても初々しい20歳代前半ではなく、年齢は30歳代後半で、学校に入る前は某スーパーで働いていました。その後結婚・出産し、4ヶ月だった長女を保育園に預け看護学校に入りました。

何故看護師を目指したかと

いうと、以前から医療の世界には興味はありましたが、母や妹が病気になり入院したことからその気持ちが強くなり、自分も病気で苦しむ人たちのために何かできるようになりたいと考えたことがきっかけです。そしておぞらへの配属を希望した理由は、学校の先輩や同級生からおぞらの話を聞き、就職説明会で行われたインナーシップに参加し、病院とは異なる家庭的な雰囲気に惹かれ、利用者の方々とじっくりかかわることができるのでないかと考えたからです。

村上 龍

私は、豊川市にある中部福祉専門学校を卒業し、就職しました。音楽を聴くことと楽器を触る事が大好きです。4月から西棟のすばるで、みなさんと一緒に働き始めました。

前向きに頑張っていきたいと考えていますので、宜しくお願ひます。
(あすか 看護師)

黒柳 摩紀

名古屋の大学の福祉学科を卒業して、中学生の時からずっとなりたかった介護職員になる

ことができ、今年からおおぞらで働かせていただすることになりました。幼い頃から祖父母と同じくして、身近で家族が介護

をするところを見てきたということもあり、昔から福祉という分野にはとても興味があります。

働き始めて1ヶ月経ち少し

ずつ慣れてきたのですが、この1ヶ月は業務を覚えることに必死だったため、利用者一人ひとりと関わる時間が少なかつたよ

うに感じます。業務も少しづつ理解することができたと同時に、これからは一人でも多くの利用者の方々と関わり理解していきたいと思います。よろしくお願いします。

(すばる 生活支援員)

緒に働かせて頂くこととなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私が、おおぞらに来て1ヶ月が経ちました。3月末からアルバイトとしても働かせていただきたいのですが、まだまだ分からぬ事だらけで先輩方に質問しました。

(あすか 看護師)

五十川 美和

2月から「はるか」で働き初めて、あつという間に3ヶ月が過ぎました。今まで、20年近く医療の現場、福祉、知的障害者施設で働いてきましたが、重症心身障害者施設は初めての経験の為、わからない事ばかりです。3ヶ月経つた今もまだ

毎日が勉強です。毎日行ってくる『日常生活』は特に難しく、利用者の方の言語理解、表出が見えていく為、毎回悩んでいます。

時間はかかると思いますが、1日でも早く利用者の方々にとっての最良の支援ができるようになります。今後の目標として、利用者理解ができる

ように、少しの変化他の職員の接し方、コミュニケーションのとり方を参考にして、一歩一歩焦らずに頑張っていきたいです。先輩職員にたくさん仕事を教わりながら、自分を成長させていきたい

利用您的方のアドバイスもいただきながら関わり方を学んでいきたい

1ヶ月仕事場での感想は…。
呼吸器をつけている方や体の変形が強い方も多いため、どう姿勢を変えたらいのか悩みました。分からることは聞いていきたいと思います。
(あすか 看護師)

杉山 智秋

常葉学園短期大学の保育科を卒業して、今年からおおぞらで働かせていただることになりました。私は子供も大好きなのですが、障害児・者施設へ泊まりこみで実習をさせていただき、生活支援の仕事に大変やり

てばかりです。早く仕事を覚

え、生活支援員として利用者の

方々に喜ばれるような支援を

提供していきたいと思います。

その為にこれからは、笑顔や明るさ、心遣いを絶やさないよう

に全力で頑張りたいと思いま

す。
(はるか 生活支援員)

諏訪 久美子

今年新入職員として仲間入りさせていただきました。年齢的には新入職員(!!)「えつ!!」というかんじですが…。前の病院に16年勤めての再就職です。

今年の抱負としては、今まで接する機会が少なかつた重症心

身障害の方と関わるためにあたつ

一緒に取り組めて行けたらと思い

ます。

からスタートということでど

まいも多いですが、利用者の

方の生活の場でもあるため、先

輩方のアドバイスもいただきな

がら関わり方を学んでいきたい

と思います。

(はるか 生活支援員)

